

# 熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2016

## 紅が濃く見栄え抜群の早生カンキツ 「みはや」の高品質果実生産技術



「みはや」果実



果実に白色化繊布の被覆を行ったシートマルチ栽培樹

### 問 研究のねらいは？

答 「みはや」は、果皮が鮮やかな赤橙色で糖度が高く酸味の少ない食味の良い品種ですが、園地や気象条件により糖度にバラツキがあること、また、完着後に果皮の褪色が発生し、外観の美しさが十分に発揮できない恐れがあります。そこで、紅が濃く見栄え抜群で高糖度の「みはや」が生産出来る栽培技術を確立しました。

### 問 高品質果実生産技術とは？

- 答
- ① 8月上旬から樹冠下に透湿性シートを敷設するシートマルチ栽培をすることで、12月上旬には糖度13以上、クエン酸濃度1%以下の果実が生産出来ます。
  - ② 仕上げ摘果後から着色開始期までに樹冠外周部の果実を中心に白色化繊布で果実を被覆することで褪色が軽減され、紅が濃く、外観良好な果実が生産出来ます。

### 問 栽培するうえで注意する点は？

- 答
- ① 高糖度果実を安定的に生産するには、水はけが良く乾燥しやすい園地に植栽し、根域層を浅く保つ必要があります。
  - ② シートマルチ栽培を行うとやや小玉果になるため、果実の初期肥大促進を目的に、7月上旬に内成り・裾成り果実を中心に摘果します。